

系 統 ひび割れ低減型ナイロン繊維入り無収縮モルタル

特 長 1) 乾燥収縮が極めて少なく、ひび割れ抵抗性に優れる。  
2) 流動性に優れ、複雑な形状の空隙にも充填できる。

用 途 1) コンクリート断面修復注入材

配 合 比

	配 合 量		練上り量
	SBRACモルタルF	水	
1袋配合	1袋 (2.5kg)	4.5kg	約13.5L
1m <sup>3</sup> 配合	1875kg (75袋)	338kg	約1m <sup>3</sup>

外気温、材料温度、混練水温などにより可使時間、施工時間が変わるため、J14 ロート流下時間（コンシステンシー）で6～10秒となるよう、1袋（2.5kg）に対して4.2～4.8kgの範囲で、必ず試し練りを行い、混練水量を調整する。

荷 姿 2.5kg/袋

外 観 性 状 灰色粉末

可使時間の目安

タ イ プ	通 年 用		
温 度 [ °C ]	5	20	30
可使時間 [ 分 ]	45	40	25

単位容積質量 2.2 kg/L

貯蔵保証期間 4ヶ月（湿気、水分を避け、屋内で貯蔵する）

消防法による区分 非危険物

毒物及び劇物取締法 該当しない

使用 方 法

- 1) 下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイタンス、油類などを除去する。
- 2) SBRACモルタルF注入時の側圧に耐えられるようしっかりと型枠を組む。
- 3) 施工箇所は、施工前日から十分な散水を行い、下地コンクリートの表面を湿潤状態にすること。吸水の激しい場合などはエマルジョン系プライマーなどの吸水防止剤を使用する。
- 4) 施工直前に、ウエス、圧搾空気などにより下地コンクリート表面の余剰水を除去する。
- 5) 混練り容器に予め水を入れ、高速型ハンドミキサーで攪拌しながらSBRACモルタルFを徐々に投入し、全量投入後2分以上混練りする。数袋での混練りにはグラウトミキサーを用いる。
- 6) J14 ロート流下時間が6～10秒になるよう水量を調整する。
- 7) 打ち込みまたは注入で型枠に充填する。
- 8) 施工後は、直射日光や風等による表面の乾燥を抑えるためシート養生等を行う。また、寒冷時には、保温養生を行うこと。

使用上の注意

- 1) SBRACモルタルF施工要領書をよく読み、内容を理解してから施工する。
- 2) 打ち込み時、モルタルの自由落下高さは50cm以内とすること。
- 3) ポンプで注入する場合、ホースを極力打ち込み面に近づけること。
- 4) 打ち込む場合、1ヶ所から多量に流し込まず、平均して打ち込むこと。
- 5) 横方向に長い部材に注入する場合、注入口は6mに1ヶ所設けること。
- 6) 硬化前に、衝撃、過大な荷重、振動を極力与えないこと。
- 7) ハンドミキサーは、モルタル攪拌用を出来る限り使用する。また、アルミ製の攪拌羽根及びスクリュタイプの使用は、禁止とする

#### ⚠ 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については安全データシート（SDS）を参照してください。